

開講科目名	日本語I B			
成績入力担当	川上 尚恵	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.5単位
ナンバリングコード	R1JJ190	曜日・時限等	木1(対面)	時間割コード

授業のテーマ

上級レベルの作文能力の育成を図り、学術的な文章作成のための基本的な作文技術を身につける。

授業の到達目標

1. 学術的な文章にふさわしい文体や表現を運用できる。
2. 基本的な論文の構成や書式、及び守るべきルールを理解できる。
3. やや専門的あるいは学術的なテーマについて、序論・本論・結論から成る論理的な文章を作成できる。

授業の概要と計画

日本語の文の構成や文体の使い分け、学術的な文章によく使われる語彙や表現について、実践を通して学ぶ。
授業の概要は以下の通り。

- 第1回 (6/11) ブックレポートとは、本や資料の探し方
- 第2回 (6/18) 効果的な読解と要約
- 第3回 (6/25) 批判的思考
- 第4回 (7/2) 引用の方法
- 第5回 (7/9) 論理的な書き方
- 第6回 (7/16) 発表①
- 第7回 (7/23) 発表②
- 第8回 (7/30) ブックレポートの推敲・まとめ・フィードバック

※全8回 (各90分)

成績評価方法

受講生は以下の4点により評価される。

1. 授業参加度 20%
2. 提出物 30%
3. 発表 20%
4. 最終レポート 30%

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF(不可)とする。

成績評価基準

1. 授業参加度：受講態度や授業活動への取組の積極性、授業中に行う課題の達成度などで評価する。
2. 課題：提出率、課題の指示を守っているか、授業で学んだことを応用できているかなどの観点で評価する。
3. これまでの課題を積み重ね、授業内容を反映した論理的な内容になっているか、それをわかりやすく伝えられているか で評価する。
4. 最終レポート：授業の内容をふまえ、適切な構成・語彙・表現・内容をともなったレポートかどうかという観点から評価する。

履修上の注意（関連科目情報）

対象者：

本授業は上級レベルの日本語科目である。履修希望者は、中上級レベルの学習を終えているか、GEC-JTestで上級レベルであること。

交換留学生（特別聴講学生）履修可

関連科目情報：

- ・日本語II、IV
- ・日本語IAに続けて履修するのが望ましい。

事前・事後学修

授業で出された宿題（課題）はしなくてはならない。聴講生であっても、課題の提出と授業活動への積極的な参加が必要です。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

原則、クラス内で質問すること。授業時間外に質問があるときは、下記メールアドレスにメールを送ってください。

メールアドレス：kawakami [AT]sapphire.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの [AT] の部分をアットマーク @（半角）に置き換えた上で宛先に入力。

学生へのメッセージ

学術的な文章を書くためには、読んでその形式を知ることも必要です。自分の関心のある分野の論文などを読んでみてください。

今年度の工夫

BEEF+（学習管理システム）を使って、課題の提出や受講生とのインターアクションを行う。

教科書

ハンドアウト

参考書・参考資料等

『学生のレポート・論文作成トレーニングスキルを学ぶ21のワーク 改訂版』 / 桑田てるみ、江竜珠緒、押木和子、勝亦あき子、松田ユリ子：実教出版，2015，ISBN:978-4-407-33614-6

授業における使用言語

日本語

日本語

キーワード

日本語、上級、作文、交換留学生（特別聴講学生）可、PC